

柑故名之。此柚柑或是。按由加字。漢名未詳。○中釋木。櫪。櫪。郭注云。柚屬也。此所引即是。按邢昺曰。櫪一名櫪。是爾雅以櫪釋櫪也。源君二字連讀。誤。郭注又云。子大如孟。皮厚二三寸。中似枳。食之少味。桂海虞衡志云。廣南臭柚。大如瓜。可食。其皮甚厚。染墨打碑。可代氈刷。且不損紙。郝懿行曰。卽郭所說也。李時珍曰。柚之大者謂之朱欒。最大者謂之香欒。爾雅謂之櫪。又曰。櫪。又曰。柚其實有大小二種。小者如柑。如橙。大者如瓜。如升。有圍及尺餘者。亦橙之類也。今人呼爲朱欒。形色圓正。都類柑橙。但皮厚而粗。其味甘。其氣臭。其瓣堅而酸惡。不可食。其花甚香。小野氏曰。可以充今俗呼爲坐盆者。

〔和漢三才圖會八十七〕櫪櫪 櫪櫪 香欒 臭柚 和名柚柑ユカウ 俗云左牟須。

本綱。柚大者謂朱欒。最大者謂香欒。爾雅謂之櫪。櫪。

按櫪。櫪。柚屬也。其樹葉花皆與柚無異。實形色亦似柚而最大。芬馥如乳柑クチンホウ。其瓣味如橙。而苦微酸。蓋此兼柚柑橙之三也。和名抄謂柚柑亦相兼之義乎。

〔廣益國產考八〕蜜柑を仕立る事

三州遠州にてゆかうといへるを作り出す也。是は柑子に似て別種也。味ひ少し劣れり。肌は蜜柑と柑子の間にて。色艶は柑子の方に似て。蜜柑柑子に先立色付なれば。早く作り出して。蜜柑の出ざる前。三都に出しなば。利を得べしと思はる。柑子は味ひも美にして。品よく。色は少し黄を帶て皮うすく。見事にして。肌よろし。品は蜜柑に勝れども。味ひは少し劣れり。此外種々あれども。國産とならざるは出さず。國の潤ともなるべきは蜜柑にまかじと見えたり。

〔新撰字鏡木〕枳居紙思紫二反。木實也。

〔本草和名十三〕枳久知奈志。又加良。立花。 枳實仁。謂音居爾。一名枳殼。敬注。一名玃實。玉篇。英。一名時枳。五月採者。名時枳。和名加

良多知

〔倭名類聚抄二十〕枳木 枳枳 本草云。枳。枳。名加良。太知。玉篇云。枳似橘而屈曲者也。七卷食經云。枸櫞。枸。卽